

ネット使い放題、リクライニングシート、シャワーも設置…

漫画本を図書館並みにそろえた「まんが喫茶(まん喫)」が、インターネット使い放題、シャワー設置などサービスをアップして、人気を取り戻している。漫画で育った二十代から四十代の男女を中心に、ひとときの癒やしの場になっているようだ。

まんが喫茶の復権の兆し

多彩なサービス、奏功



しゃれた雰囲気「まんが喫茶」で足を伸ばしてくつろぐ女性
＝東京都新宿区

「コミックバスター」料金は最初の一時間が四エ高田馬場店」は、一日エムドライブ西中島店」百二十円で、コーヒーや二百人以上の利用者のほはJR新大阪駅近くに昨ジュースなどはお代わり約二万円一月、オープンした。自由。一日に約百三十人五千冊の漫画本の約三割漫画本は新旧合わせて約が来店するという。二万冊。木製の壁で間仕切られた二十七の席を「上質な安らぎの空間を提供したい」と佐藤誠類が本棚に並ぶ。畳一畳はインターネット用パソコンが置かれ、ふかふかの椅子を備えたリクライニングシートが備えられている。方や、仕事帰りに立ち寄り、三時間のんびり風のコナールと多彩に用

流れるジャズ

男性店員はスーツにネクタイを着用して高級感を出し、居心地がいい。同い暗めの店内には、ジャズが静かに流れている。漫画を読むと心からくつろげます」と話す。

漫画だけでなく、無料で使えるパソコンでゲームにふける若者も多い。

高田馬場の「ルシエル」では使用後にアルコール

清潔感も重視

「女性には清潔感が大事」(山本裕美店長)と、いすや机、ヘッドホンな

20～40代 癒やしの空間に

消毒している。「喫茶店やレストランだと長居しづらい。まん喫なら気持ちよく暇つぶしできます」と会社員の女性(30)。

業界団体「日本複合カフェ協会」(東京)によると、まん喫は一九八〇年ごろ名古屋で誕生。バブル経済とともに全国に広まったが、「まんが喫茶イコールおたくの集まる場所」とのイメージが強まり一時衰退した。

九〇年代後半からレストラン並みの食事やネイルアートなど個性的なサービスを導入して再び急成長、昨年の一年間で約五百店も増え、計約三千店に達している。お客様のニーズを取り込んで再生したまん喫、さて次の一手は？